

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)旭ヶ丘公民館の施設及び設備の維持管理に關すること。 (2)旭ヶ丘公民館の使用許可に關すること。 (3)使用料の徴収に關すること。 (4)公民館事業の実施に關すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)＝(R5年度実績)÷(R4年度実績) ・大ホール:44.4%(平均値比101.4%＝44.4%÷43.8%) ・中会議室:36.8%(平均値比107.9%＝36.8%÷34.1%) ・小会議室:24.4%(平均値比135.6%＝24.4%÷18.0%) ・研修室:18.3% (平均値比107.0%＝18.3%÷17.1%) ・和室A:13.7% (平均値比101.5%＝13.7%÷13.5%) ・和室B:19.9% (平均値比113.1%＝19.9%÷17.6%) ・料理実習室:8.3%(平均値比109.2%＝8.3%÷7.6%)	5点				
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)＝(R5年度実績)÷(R4年度実績) ・大ホール:17,397人(平均値比117.4%＝17,397人÷14,816人) ・中会議室:4,623人(平均値比135.2%＝4,623人÷3,419人) ・小会議室:2,369人(平均値比151.7%＝2,369人÷1,562人) ・研修室:3,769人 (平均値比178.7%＝3,769人÷2,109人) ・和室A:1,670人 (平均値比111.3%＝1,670人÷1,500人) ・和室B:2,137人 (平均値比117.4%＝2,137人÷1,821人) ・料理実習室:1,384人(平均値比401.2%＝1,384人÷345人) ・図書貸出:2,311人(平均値比110.1%＝2,311人÷2,099人)	5点				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P133～135 ①第29回ふれあいまつり(来場277人・出演15団体181人) ②第44回趣味の作品展(12団体 出展・来場770人) 32区ウォーキング、保健センター「健康ひろば」との共催。 ③健康サロン・ラジオ体操(351回4,719人) ④ウォーキング事業(全7回86人) ⑤認知症サポーター養成講座(45人)※北栄包括、図書館本館共催 ⑥認知症予防講座「コグニサイズで認知症予防」(2回38人) ⑦防災料理講座「自宅にあると便利な食品と使い方」(10人)	仕様書以上 13点	①「ふれあいまつり」は、4年ぶりの参加団体や観客参加型のステージが増えるなど、コロナ明けで高まる参加者の意欲に応じている。多西高放送部による司会など多世代交流の場となるよう努めている。 ②「趣味の作品展」は、自治会のウォーキングや健康ひろば事業との連携が定着。地域交流の場として相乗効果を引き出す取組みを行っている。またサークルに発展した講座からの出展など利用団体の目標となっている。 ③健康サロン「ラジオ体操」、ウォーキング講座、認知症サポーター養成、コグニサイズなど健康づくりへの関心に応えるとともに、人との交流の場として期待できる。	13点					
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P136～141 ①3つのサークル講師をつないだコンサート(～ギターとオカリナに包まれて～ほっこりコンサート)(137人) ②事業団連携事業 (1)パーカッションアンサンブルコンサート(56人)、(2)気軽にご近所落語会(83人) ③第6回北栄校区こどもの文化祭(365人) ④SDGs北栄ボランティアキッズと花壇づくり(13人) ⑤コグニサイズで介護されない身体づくり講座(2回50人) ⑥正しい眠りで認知症予防(16人) ⑦スポーツ吹き矢入門講座(4回10人) ⑧筆文字アート(4回12人) ⑨講師の実技を見て学ぶ料理講座(2回27人)	期待以上 13点	①異なるサークルの講師がコラボしたコンサートは、選曲に利用者のニーズを取り入れ好評を得た。来場者、講師の新しい活動へと繋げることができた。 ②「ご近所落語会」は、著名な演者による質の高い落語が身近な公民館で楽しめる为好評。公民館の可能性を示すことに繋がった事業。 ③北栄校区の関係機関が連携した「子どもの文化祭」。地域住民が児童の作品を通して子どもの思いに触れ、理解する場として有意義な事業。 ④介護予防、認知症予防など健康ニーズに沿った事業は、特に「睡眠」など多角的な視点で事業が展開されている。 ⑤ニーズの高い「スポーツ吹き矢」をコロナ5類移行後、速やかに開催。「筆文字アート」も「趣味の作品展」に初参加を促し、いずれも参加者の意欲を高めて同好会へ発展させた。 ⑥料理講座は、講師の実技を全員が見て学ぶ方法が参加者から好評を得た。	13点					
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P142 ①施設内清掃(基準:毎日)を実施。特別清掃は年2回実施。 ②利用頻度の多い外トイレもいつも清潔であるよう定期的に点検清掃。 ③子ボラが育てた苗の花壇を公営住宅住民やラジオ体操参加者と一緒に整備。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点					
		②保守・点検			年次報告書P142 ①消防設備保守点検(年2回)②空調機器設備保守点検(年4回点検清掃) ③卓球台5台を専門業者による点検整備 ④自動ドア開閉異音点検(年2回) ⑤研修室側の桜の枝剪定他敷地内の樹木は年2回に分け剪定 ⑥冬は外トイレの凍結予防対策実施 ⑦空調機器は定期的にフィルター清掃実施(SDGs対策)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						
		③保安・警備			年次報告書P143 ①機械警備業務を委託。 ②朝、昼、夕、夜間に外トイレほか見回り。 ③毎朝の点検時に敷地内にたばこの吸い殻やアルコール空き缶があれば記録	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						
		④小規模修繕			年次報告書P143 ①有料修繕 年間で11件、総額539,778円。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P144 ①減災対策としてR3年度から飛散防止フィルム付ガラスに交換。全館終了。 ②地震に備え卓球台とスタックテーブルの脚のロック状態を毎朝確認。 ③市公共施設点検マニュアルに沿って年2回、複数職員でチェック。 ④サクラの枯れ枝や病虫害で弱った大枝を剪定(落下防止)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P144 ①市のファイリングシステムによる文書管理。全職員が必要な文書を正確かつ円滑に取り出せるように心がけ、不要になった文書は適切廃棄処分。 ②ファイリングシステムのラベルやファイルは使い回し、資源と時間のECO化。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P144 ①害虫駆除も兼ね草刈りや側溝清掃等環境整備を定期的 to 実施。 ②子どもから大人まで心一つにECOな花壇整備への取り組み。 ③館内トイレの手洗い場の照明をLED化。 ④グリストラップや雨樋清掃(年2回)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P144 ①物理的な対策だけでなく利用者の「心のバリアフリー」を意識し運営。 ②こまめにアンケートを実施し、いただいた意見には回答を提示。 ③提出書類の簡略化や会議を減らすなど、利用者の負担軽減に努める。 ④様々な支援を必要として公民館に頼る人を適切な機関へつないでいる。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P144 ①市の備品には備品シールを貼り適正に管理。物品番号が届いていない備品は一覧表を作成し、備品シールを貼れるよう準備済。 ②卓球台、スタックテーブルなどは月1回、職員がキャスターやネジの安全点検。卓球台は年1回、専門業者による整備点検。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P144 ①名簿等の個人情報の把握は最小限にとどめ、必要以上に作成保存をしない ②個人情報を含む書類等は管理されたキャビネットに保管。廃棄はシュレッダーで裁断し処分場で焼却処理。 ③広報用に写真撮影等は、撮影及び掲載の了承を得ている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	
		3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入21,223,003÷支出21,532,688＝99%	100%未満 3点	【参考】令和元年度101%、2年度94%、3年度100%、4年度101%
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P146 ①異なるサークル講師3人を繋いだコンサートは、アンケートでニーズの高かった楽曲を選曲し好評を得た。さらにギターの良さを再認識し仲間を集め活動を再開した方、今回の出演者を招いて文化会館で演奏会を企画された方など、このコンサートから活動のつながりが拡大。 ②コロナ5類移行でニーズが高くなった料理講座を積極的に開催。時短料理にもなる「防災料理」、ライブ感覚で講師の実技を見て学ぶ「華やかなごちそう料理」など好評を得た。 ③ニーズに応えた講座「スポーツ吹き矢」「筆文字アート」は同好会へ発展。	期待以上 9点	①コロナの5類移行のタイミングで解禁されたものを速やかに実施するように努めた。特に待望の料理講座は需要に応え回数を増やすだけでなく、内容や進行にもニーズを反映。 ②利用者の声から開催した「スポーツ吹き矢」「筆文字アート」はその後、同好会に発展を支援した。的確にニーズをつかみ、サークル化へのコーディネートが図られている。 ③学生からの夏休み期間の学習の場を求める声を受け「Cool Share」を実施。夏休み明けも学生の団体利用があるなど、若い世代の公民館の利用につながっている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点※苦情なしは5点とする	苦情なし	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P146～148 ①「子ども食堂」の実施について5件の問い合わせあり。主催、地域の子ども達、保護者、地域住民など子ども食堂に関わるすべての人にとって円滑に開催されるよう、手続きや館の使用等に配慮。 ②減災対策とし令和3年度から取り組んできた全館窓ガラスの飛散防止フィルム付窓ガラスへの交換が施工完了。 ③夏休みの学習室「Cool Share」は休み明けも中学校部活単位の利用が続くなど継続的な支援を行い、若い世代の利用増加につなげた。 ④認知症予防について地域包括支援センターや市高齢福祉課と連携。運動、脳トレ、睡眠など多角的なアプローチで社会的ニーズの高い認知症予防講座を複数開催。 ⑤学校協働として「北栄小ハッピーフェスティバル」に「ババ抜き大会」で参加。小学生に公民館を知ってもらう場となった。	期待以上 13点	①「子ども食堂」の受入れに対して、円滑な利用に繋げるなど、公民館としての役割を果たしている。 ②窓ガラス飛散防止フィルムの施工完了は、主体的かつ計画的な施設改善の取組みとして評価。 ③学生の「Cool Share」や楽器練習の個人利用など、ロコミから若い世代にも公民館の認知が進んでいる。若い世代への利用しやすい施設としての取組みに期待。 ④認知症予防について多角的な視点に立って講座を拡大。地域や関係機関と連携し、地域住民の参加を促し取り組まれている。 ⑤学校協働として北栄小学校、PTAと連携し、地域機関と一緒に参加した取組みは子どもを地域で見守る視点からも評価。	13点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし。	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計86点	極めて良好
								全体的な評価 ①高齢化や地域独自の課題、ひいては子ども食堂への対応など、公民館が他の諸機関とともに生活支援の担い所も担っており、地域の信頼を得て業務が行われている。 ②楽器の練習など若者の個人利用が多く、さらに夏季の学習の場の提供など若い世代の受入れにも注力している。益々多世代交流が促進する施設となることを期待する。	